

進級して約2か月、大きい組になったうれしさに気合が入っていた子どもたちにも疲れが出てくる頃だと思えます。また、季節の変わり目には体調を崩しやすくなります。休日にはしっかり休養をとり、体調を整えて元気に登園してくれるのを待っています。



学級懇談会でもお話しした努力点『“おもしろそう！” “やってみよう！”と主体的に遊ぶ幼児を目指して ～造形遊びを通して～』をテーマに、子どもたちがどんなことに取り組んでいるか、これからおたよりでお知らせしていきたいと思えます。

☆努力点☆『自分でできる』

ゴールデンウィーク明け、自分たちの育てたい野菜の苗植えをしました。葉っぱの違いに気付いた子どもたちは、園芸の本をじっくり見て「この形に似てるね」「これより（本）小さいから違うかな」と言いながら、自分たちの苗を探していました。

野菜を植えた翌日、教師が「きゅうりを植えたの、誰だっけ・・・」とプランターを見ながらつぶやくと、Aちゃんが「先生！ここ（プランターの野菜の前）に名前書いたらいいじゃん！」と言い、水やりをしていたBちゃんも「わたしたちの名前も書きたい！」と言いました。教師が「それいいね！野菜の名前と、植えた子たちの名前を書いたら、分かりやすくていいね」と話すと、「前（年中時）はね、牛乳パックに書いて、割りばしを付けたよ」と方法を教えてくれました。自分が遊びの中で経験してきたことを次の機会に生かせる姿に、年長らしい日々の積み重ねを感じました。



子どもたちのアイデアをもとに、さっそく同じ野菜を植えた友達と同じ机に座り、一緒に表札作りをしました。「野菜の名前と、自分の名前を書いてね」「書けない子は友達に書いてもらっても、先生が書いてもいいからね」と、子どもたちの力に任せてみました。すると、『何から・何色で・誰が』書くかを相談したり、友達が書く様子に興味をもったりして、自分たちなりに進めようとしていました。

教師は、野菜の名前が書けずに困っていたCちゃんに「“お”だけ先生がお手伝いしようか」とそっと声をかけました。Cちゃんは保育室の壁面に掲示された野菜の担当表にある自分の名前を見て少し考えてから、「大丈夫。自分でできる」と言いました。何度も掲示と手元を見ながら、一生懸命書いていました。

今後も生活の中で、自分で必要感を感じて“書きたい”と思える機会をつくっていききたいと思えます。



『いちごジュースひとつ!』

屋上で楽しんでいる色水遊び。Aちゃんができあがったジュースのにおいをかいで「オレンジのにおいがする」と言いました。教師が「ほんとだ! オレンジのにおいがするからオレンジジュースだね」と言ったことをきかっけに、「これは200%のぶどうジュース」「しゅわしゅわしてるでしょ。だからソーダジュースにしよう」など様々なアイデアが出ました。友達とアイデアを出し合って全部のジュースの味を決め、ジュースを味ごとに机に並べてから、ジュース屋さんを始めました。



子どもたちは小さい組さんに優しい声で「何にしますか」「今日のおすすめはいちごジュースです」と声をかけたり、お客さんから注文が入ると大きな声で「いちごジュースひとつ!」とお店屋さんの友達に伝えたりしていました。注文されたジュースはお盆に載せて運び、飲み終わったジュースも「おいしかったですか?」と尋ねてからお盆に載せて下げました。お盆が重たくなると「ちょっと運ぶの手伝って」と友達に助けを求めたりする姿もありました。



本物らしく遊ぶことが楽しくなってきた子どもたち。教師も仲間に入りながら子ども同士でアイデアを出し合ったり、力を合わせたりすることができるようなきっかけ作りを大切に、思いを伝え合いながら友達と一緒に遊びを進めるうれしさを感じられるように支えていきたいと思います。



お願い



収穫した野菜や買物で買ってきた材料を使って、6月10日(金)にカレー作りを行う予定です。子どもたちが野菜の下処理をしたりカレールーを入れたりするよう計画をしています。6月8日(水)に子ども用エプロンを集めますので、準備をお願いします。

☆子ども用エプロンがない方は担任に声をかけてください。

(三角巾は園のものを使用します。

使用後、洗濯・アイロンかけをして返却下さい。)



おたんじょうび おめでとう!

6月うまれのおともだち

にじ組

ほし組

2名

2名

